

講義番号 M1208 科目名 倫理観と人間性Ⅰ
 単 位 0.5 開講期 第 1・2 期 定員 140
 担当教員 岡崎 史子（科目責任者）、福井 直樹、ラズビナ・オリガ、学内外の講師の先生
 科目英文名 Ethics and humanityⅠ
 聴講指定等 医学部（医学科）

<科目の概要>

基礎医学、社会医学の授業などで修得が十分でない「倫理観と人間性」に焦点を当てて、医療者として必要な資質・能力を考え、学び、身につける。

<科目のねらい>

医学教育モデル・コア・カリキュラムでは6年間で身につけるべき資質・能力として「プロフェッショナリズム」「総合的に患者・生活者をみる姿勢」「生涯にわたって共に学ぶ姿勢」「コミュニケーション能力」「多職種連携能力」などが挙げられている。本学の卒業時アウトカムとしても「コミュニケーション」「倫理観と人間性」「自己研鑽・生涯学習」を挙げており、これらは通常の科目の授業のみでは修得が十分ではない。そのため、本科目を今年度より設置し、これらの資質・能力を獲得し、また本学のアウトカムを目指して努力できる素地を形成することが、この科目のねらいである。

<授業実施形態>

対面で実施する。講義、演習、実習、グループワーク、ロールプレイ、発表など様々なアクティブラーニングの形態を活用しながら授業を実施する。

<学習の達成目標>

1. 今後の学習計画を立てることができる
2. 今後のキャリアパスについて検討することができる
3. ご献体いただいた思いに敬意を払い、感謝の気持ちをもつ
4. 患者さんの話を聞き、思いに共感する努力ができる
5. アサーティブコミュニケーションを実践できる
6. 医療人類学の視点から臨床の現場について、検討することができる
7. 「やさしい日本語」を使って、在日外国人とのコミュニケーションを実践する
8. 人の行動の成り立ちを考え、人の行動を変容させる方法を検討できる

<授業計画>

日時	時限	講義形式	講義内容	担当
4月1日	1, 2	対面	学年ガイダンス キャリアパス説明会	川島寛之、岡崎史子
5月9日	1 - 3	対面	解剖体慰霊祭	佐藤昇
6月23日	4 - 6	対面	患者さんの話を聞いて、考える	患者スピーカーバンク
7月2日	4 - 6	対面	アサーティブコミュニケーション	岡崎史子、福井直樹、ラズビナ・オリガ
10月9日	4 - 6	対面	医療人類学の視点で現場を考える	宮地純一郎（名古屋大学）、荒隆紀、
10月28日	4 - 6	対面	「やさしい日本語」を実践する	武田裕子（順天堂大学）
1月16日	4 - 6	対面	人の行動の成り立ちを考える	福井直樹
2月6日	4	対面	研究室配属先決定	岡崎史子、平島正則

<授業時間外学修>

授業後に関連教材やインターネット上での積極的な学習を求める

<使用テキスト>

授業で必ずしも使用しないが、学習を補完する書籍として以下が挙げられる。

丸善出版 「日本人の日本語」を考える

南山堂 医療現場の外国人対応「やさしい日本語」

主婦の友社 「よくわかるアサーション 自分の気持ちの伝え方」

<成績評価の方法と基準>

この科目は演習科目であり、実習に準じて100%の出席を原則とする

- ・無断の遅刻、欠席は許さない。必ず科目責任者に理由と共に連絡を入れること。
- ・10分以上の遅刻は欠席とみなす
- ・解剖慰霊祭の欠席は絶対に認めない。特段の事情がある場合には佐藤昇教授にあらかじめ連絡をとること。事情によって、補講（篤志家団体の会合への参加、慰霊碑清掃・盂蘭盆への参列など）が実施される場合がある。
- ・6月23日から1月16日の授業では、事後にリアクションペーパーを提出する。リアクションペーパーは1週間後の午前9時までに提出する。遅れた場合は受け取らない。
- ・計5本のリアクションペーパーは10点満点で採点され、平均で6割を超えない場合は単位を認定しない。

<主要な知識内容のキーワード>

アサーティブコミュニケーション、やさしい日本語、行動科学、プロフェッショナルリズム、倫理観